

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 3年2組 男20名 女18名  
 指導者 千 葉 真 名

**育てたい主となる能力(基礎・基本)**

・互いの考えの相違点や共通点を考えながら，進んで話し合うこと。

(話・聞 ウ)

**1 単元名** 考えを整理して話し合おう

**教材名** 名前をつけよう

**2 子どもと単元について**

(1) 子どもたちは、「道あんないをしよう」では，地図を使い，聞き手を目的地まで正しく案内するために，大事な事を分かりやすく正確に話したり，聞いたりする学習を行った。また，「『分類』ということ」では，注目した特徴に基づいて任意の集合体を分類し意見を交流することから，自分の考えと友達の考えとの相違点を見付けながら話し合うという活動を経験している。

また，国語科以外の学習や日常活動における話し合いでも，自分が体験したり考えたりしていることについて話したり，それについて質問や感想を話したりする機会を設けている。

これらの学習や活動によって子どもたちは，自分の考えを自分の言葉で進んで話したり，友達の話に興味をもって，知りたいことを考えながら聞いたりすることができるようになってきている。また，自分とは違う考えに気付いたり，友達の考えを聞いて，それに付け加える発言をしたりする子どもも増えてきている。

(2) 本単元「考えを整理して話し合おう」は，名前を付けるという身近な話題について，自分の考えと友達の考えとの相違点や共通点を考えながら，合意点を見付けようと進んで話し合うことをねらいとしている。

本教材「名前をつけよう」では，子どもたちが属するチームに名前を付けるために話し合う中で，自分の考えを話し，友達の考えと比べながら聞き，さらには合意形成に至る，という話し合いの基本的な方法を学習する。まず，CDで話し合いの様子を聞き，そこから，話し合う時の大事な観点を理解させる。つまり「名前を付ける意味について明確にして話し合うこと」「自分の考えに理由を付けて述べること」「それぞれの意見の相違点や共通点を見付けながら聞くこと」「友達の意見のよさを生かそうと考えて発言すること」である。次に，自分たちの身近な話題について，学んだ事を生かして実際に話し合いをする学習を行う。その際，1つ目の話題を少人数グループで話し合い，2つ目の話題を少し人数を増やしたグループで話し合うというように，発展的に繰り返すことによって，話し合う力の向上を図っていきたいと考える。名前を付けるという，子どもたちにとって身近な話題を通して，日常生活に欠かせない互いの意見を尊重しながら話し合うという学習活動を行うことから，本単元のねらいにせまるために適材であると考えられる。

(3) 本単元では，基礎・基本の定着を図るために，互いの考えの相違点や共通点を考えながら，グループで話し合うという領域の特性を生かした言語活動を行う。

・モデル提示から，話し合いに大切な事について話し合う。

(「見通す」段階)

- ・ 3～4人のグループで、学級の係の名前を話し合う。 (「深める」段階)
- ・ 5～6人のグループで、グループで作った作品の名前を話し合う。 (「深める」段階)
- ・ 決まったチームの名前について全体の場で発表し合い、感想を交流する。 (「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

相手意識	学級の友達と
目的意識	クラスの係、グループで作った作品に名前を付けるために
場面・状況意識	お互いの考えを分かり合えるように、グループごとに話し合う。
方法意識	自分の考えの理由を明らかにしながら、友達の考えとの相違点や共通点を整理して話し合う。
評価意識	自分たちの話し合い方を評価項目に基づいて相互評価・自己評価する。

ここで身に付けた「互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合う力」は、国語科、他教科、他領域の学習に生かすことができる。例えば、学級活動や学習の時間の中で、グループごとに活動の進め方や考えをまとめるために話し合う場面などでも生かされるものとする。また、日常生活では、遊びの中で、また異学年の少人数グループで意見をまとめる場面などで生かされるものである。

### 3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	名前の付け方について、積極的に話し合おうとする。	・クラスの係、グループで作った作品などに名前を付ける活動において、積極的に話し合いに参加しようとしている。
話す・聞く能力	互いの考えの相違点や共通点を考えながら、名前の付け方について進んで話し合うことができる。 (話・聞 ウ)  自分の考えとの相違点や共通点に気を付けながら友達の考えを聞くことができる。 (話・聞 イ)	・友達の考えと自分の考えの相違点や共通点に気を付けながら、理由を付けて話し合っている。  ・自分の考えとの相違点や共通点を見付けながら、注意深く友だちの考えを聞いている。
言語についての 知識・理解・技能	その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。 (言ア (ア))	・グループでの話し合いや学級全体での話し合いなど、その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話している。

### 4 学習指導計画及び評価規準

6時間(話・聞 6)

過程	学習内容と主な学習活動	評価規準<評価方法>		
		国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
見 通 す	単元のねらいを知り、学習の見通しをもつこと ・野球やサッカーなどのチーム名、	名前を付ける話し合いの仕方について、進んで考えようとし	何について話し合いがなされ、どのように決まったかを聞き	新出漢字の読みや語句の意味について理解している。

	<p>自分の名前の由来などを出し合い、名前を付けることに興味をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材CDを聞き、名前を決める話し合いの見直しをもつ。</li> <li>漢字と語句の練習をする。</li> </ul> <p>1時</p>	<p>ている。</p> <p>&lt;発言・態度&gt;</p>	<p>取っている。</p> <p>&lt;発言・ワークシート&gt;</p>	<p>&lt;音読・ノート&gt;</p>
	<p>話し合いの仕方を知ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材CDや教科書をもとに、ポートボールのチーム名がどのように決められたのかを確かめる。</li> <li>話し合いで大切なことをまとめる。</li> </ul> <p>2時</p>	<p>話し合いで大切なことを進んで考えている。</p> <p>&lt;発言・サイドライン&gt;</p>	<p>理由を付け加えた発言や互いの意見のよいところを生かした発言に気を付け、話し合いで大切なことを理解している。</p> <p>&lt;発言・サイドライン&gt;</p>	<p>グループでの話し合いにふさわしい音量や速さで話し合っていることを理解している。</p> <p>&lt;発言&gt;</p>
深める	<p>新しい係に名前を付ける話し合いをすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えた名前と理由をワークシートに書く。</li> <li>自分の意見を話す。</li> <li>お互いの意見のよいところを生かして名前を決める。</li> <li>話し合い方についてグループ同士で相互評価する。</li> </ul> <p>1・2時</p>	<p>ふさわしい名前を付けるために、進んで話し合おうとしている。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ&gt;</p>	<p>自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、グループの意見をまとめるために話し合っている。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ・ワークシート&gt;</p>	<p>グループでの話し合いにふさわしい音量や速さで話している。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ&gt;</p>
	<p>グループで作成した作品にふさわしい名前を付ける話し合いをすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに話し合い、意見をまとめる。</li> <li>質問したり意見を出したりしながら話し合う。</li> <li>互いの意見のよいところを生かして名前を決定する。</li> <li>話し合い方について自己評価する。</li> </ul> <p>本時3時</p>	<p>ふさわしい名前を付けるために、進んで話し合おうとしている。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ&gt;</p>	<p>自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、グループの意見をまとめるために話し合っている。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ・ワークシート&gt;</p>	<p>グループでの話し合いにふさわしい音量や速さで話している。</p> <p>&lt;話し合い・カセットテープ&gt;</p>
広げる	<p>全体の場で、どんな話し合いによってどんな名前に決まったかを発表し、相互評価すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いによって決まった名前を発表する。</li> <li>決まった名前について、感想交流をする。</li> </ul> <p>1時</p>	<p>他のグループの話し合いの結果やよさについて考えようとしている。</p> <p>&lt;発言&gt;</p>	<p>他のグループの話し合いの様子やよさについて聞き取っている。</p> <p>&lt;発言・ワークシート&gt;</p>	<p>クラス全体での話し合いにふさわしい音量や速さで話している。</p> <p>&lt;発言の様子&gt;</p>

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

ふさわしい名前を付けるために、進んで話し合おうとしている。  
自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、グループの意見をまとめるために話し合うことができる。

### (2) 展開

前時までの学習	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい係に名前をつける話し合いをすること</li> <li>・話し合いの仕方を学び合うこと</li> </ul> <p>言語活動</p> <p>自分の考えと友達の考えの相違点や共通点について考えながら、係に名前を付けるために話し合う。</p> <p>互いのグループの話し合いのよさについて学び合う。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの仕方のモデル（VTR・音声）を示し、実際の話し合いの仕方が理解できるようにする。</li> <li>・話し合いに大切な観点や話型を掲示し、グループの意見をまとめる話し合いができるようにする。</li> </ul>		
過程	学習内容・学習活動	形態	・支援 「主発問」 評価<評価方法>
課題をつかむ	<p>1 前時までの学習を想起すること（3分） (1)係の名前を決めることで、話し合いの仕方を理解したことを確かめる。</p> <p>2 本時の学習課題を把握すること（2分） グループで作った作品にぴったりの名前をつけよう。</p>	全  全	<p>・学習計画、話し合いのポイントの掲示を示して想起させ、本時の意欲へとつなげるようにする。</p> <p>・一斉読により、本時の課題を把握できるようにする。 グループで作った作品に名前を付けるために、進んで話し合おうとしているか。&lt;表情・挙手&gt;</p>
名前を付ける話し合いをする	<p>3 話し合いに大切な観点を確かめること（10分） (1)話し合いの仕方を確認する。</p> <p>話し合いのポイント 考えた名前だけでなく、その理由も話す。 友達の意見を自分とくらべながら聞く。 考えの同じところと、ちがうところをはっきりさせて話す。 もっと知りたいことをしつ問し、細かいところまでわかりあう。 おたがいの意見のよいところを生かすように話す。 みんなの意見をまとめる。</p> <p>4 作品に名前を付けるために話し合うこと（15分） (1)学習の進め方について確認する。</p> <p>《学習の進め方》 一人一人が意見と理由を話す。 分からないこと、もっと知りたいことを質問する。 話し合いのポイントをもとに、意見をひとつにまとめる。 自分たちの話し合いについて振り返りをする。</p> <p>(2)作品に名前を付ける話し合いをする。</p>	全  全  グ	<p>・VTRで望ましい姿のモデルを提示することによって、話し合いの仕方を確認できるようにする。</p> <p>・話し合いのポイントの中の特に の項を中心に確認できるように、掲示資料も提示し、振り返るようにする。</p> <p>・よりよい話し合いをするためには、 の項も大事であることに触れ、意識化できるようにする。</p> <p>・学習の進め方を掲示し、自分たちで確かめながら進められるようにする。</p> <p>「話し合いのポイントに気を付けて作品にぴったりの名前を付けるように話し合いを進めましょう。」</p>

	<p>(3)話し合いのポイントに従って、話し合いを振り返る。</p> <p>5 グループごとの話し合いからよい点を紹介し合い、学び合うこと (1)自分たちの話し合いを紹介し合い、他のグループの話し合いのよさを交流する。 (10分)</p>	<p>グ 全</p>	<p>A 自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、友達の考えのよさを生かしながら意見をまとめるために話し合っている。 B 自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、グループの意見をまとめるために話し合っている。 C への支援 ・メモを基に、自分の考えに理由を加えながら話すように助言する。 ・友達の考えについて、自分との違いや共通点を直接示し、それについての意見を導き出すように個別指導する。 &lt;グループでの話し合い、ワークシート&gt;</p> <p>・話し合いが終わったら、話し合いの観点に従って、振り返りを行うことにより、自分たちの話し合いを振り返ることができるようにする。 ・皆の意見をまとめるような話し合い(話し合いのポイントに合った話し合い)をしているグループを把握し、学び合いに生かすことができるようにする。 ・グループを回り、よいところを褒めたり、話し合いのまとまらないところには助言したりすることにより、話し合いの仕方を理解できるようにする。 「自分たちのグループの話し合いを振り返って、よくできたことについて、紹介し合いましょう。」 ・各グループから、話し合いのよさについて紹介し合う場を作ることによって、ポイントに沿った話し合いの仕方について学ぶことができるようにする。</p>
<p>ま と め る</p>	<p>6 学習を振り返ること (3分) (1)自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつこと (2分) (1)作品発表会を行うことを知る。</p>	<p>個 全 全</p>	<p>・大切な観点に沿って話し合いができたかを振り返ることのできる自己評価カードによって、自己評価できるようにし、今後の話し合い活動への意識化を図る。</p> <p>・次時の学習について、学習計画を示しながら伝え、意欲付けをする。</p> <p>ふさわしい名前を付けるために、進んで話し合おうとしていたか。</p> <p>自分の考えと友達の考えの相違点や共通点を考え、グループの意見をまとめるために話し合うことができたか。 &lt;グループでの話し合い・カセットテープ&gt;</p>
<p>次 時 の 学 習</p>	<p>学習内容 ・ 全体の場で、どんな話し合いによってどんな名前に決まったかを発表し、相互評価すること</p> <p>言語活動 話し合いによって決まった名前を発表する。 決まった名前について、感想交流する。</p> <p>支援 ・ 決まった名前に賞をつけることにより、意欲的に発表することができるようにする。 ・ 聞いているグループが、名前についての感想を話す場面を設定することにより、話し合いについての成就感をもつことができるようにする。</p>		